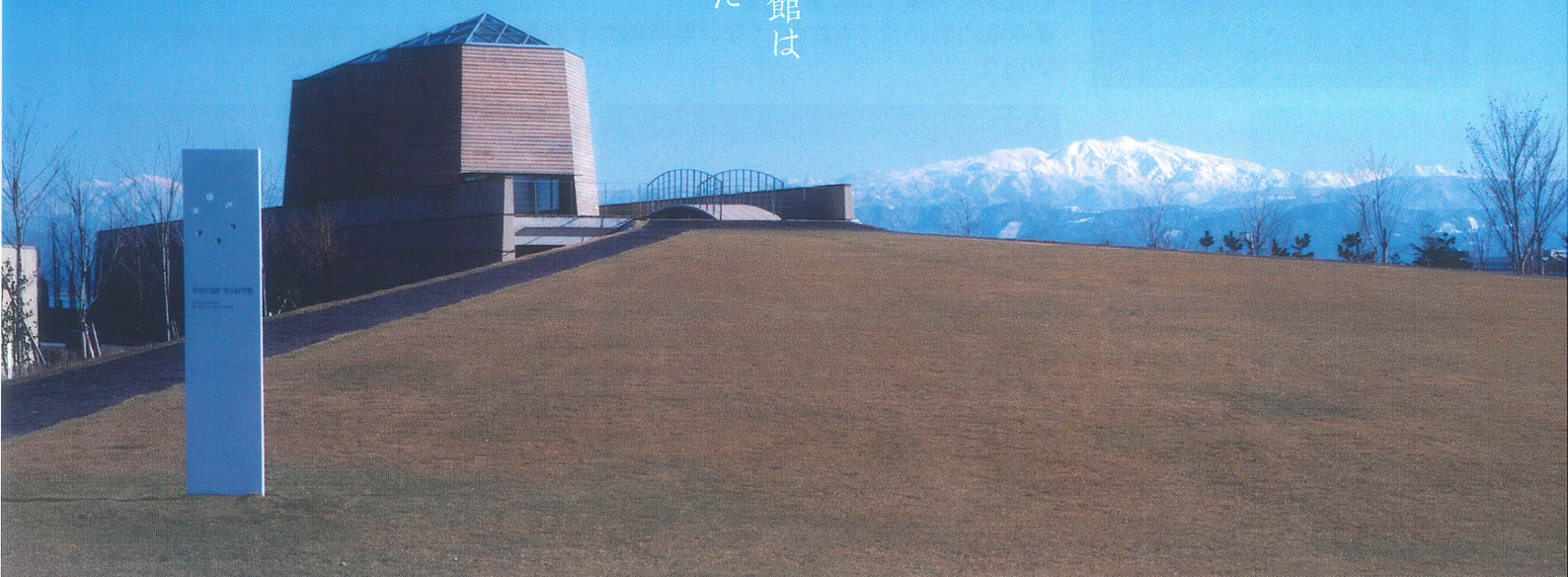


おかげさまで
中谷宇吉郎雪の科学館は
開館30年を迎えました



開館30年特別企画

2024年

10月24日(木) ▶ 11月19日(火)

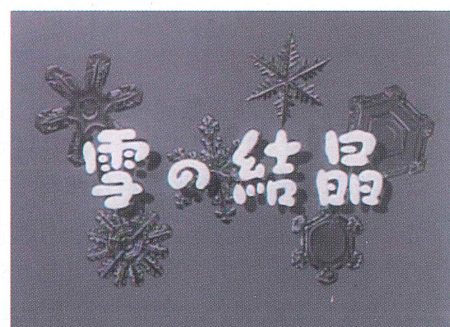


開館30年のあゆみをパネルで紹介
(1994年10月31日の落成式)



絵本原画展 はじめてのかかぐのえほん「雪のふしぎ」
©石垣 渉

/ 11/2(土) ワークショップを開催 \



科学映画上映会(解説付き)
(中谷宇吉郎監修「雪の結晶」岩波1958)

/ 11/3(祝) 開催 \

10/27(日) に雪の科学館友の会共催「雪氷実験コーナー」も開催します。



絵本原画展

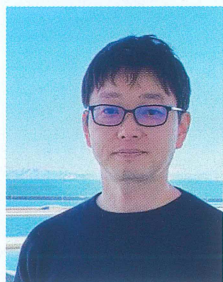
はじめてのかがくのえほん「雪のふしぎ」

2024年10月24日(木)～11月19日(火)

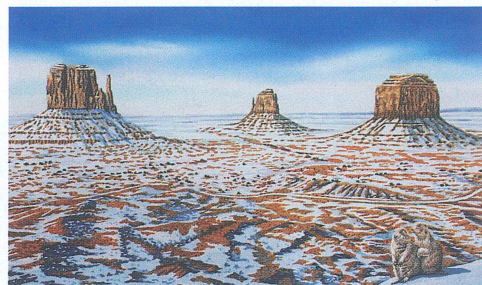
おもに透明水彩を使い北海道の風景と四季の花々を描いている水彩画家の石垣渉さん。2005年「石垣渉 水彩画教室」を開講、2009年に水彩画家として活動を開始、2022年には第81回水彩連盟展 SOMPO美術館賞を受賞します。そして2023年、子ども向けの読みやすい内容でありながら、科学の視点で雪を語った「はじめてのかがくのえほん『雪のふしぎ』」(監修:古川義純)で挿絵を描かれました。

本展では、この絵本の原画18点を一堂に展覽いたします。1枚1枚丁寧に描かれた原画を、是非この機会にご覧ください。

雪の専門家が見てもおかしくない写実的な水彩画に、この冬きっと本物の雪も観察したくなります。



石垣 渉氏
水彩画家。
1979年、
北海道生まれ



ワークショップ 「手作りキラキラ水彩絵の具」

2024年11月2日(土) ①10:00～11:00 ②11:30～12:30

雪をイメージしたキラキラした青色の水彩絵の具を自分で作ってみましょう。また、その絵の具を使って「雪が降る風景」を描いてみましょう。作った絵の具は、小さな入れ物に入れてお持ち帰りいただけます。

講師:石垣 渉氏 (水彩画家)

場所:雪の科学館 映像ホール

定員:各回10名(先着順、参加費100円、入館無料)

対象:小学生(保護者同伴要、保護者1名のみ入館無料)

電話申込要(0761-75-3323)



科学映画上映会

2024年11月3日(祝) 10時30分～12時

場所:雪の科学館映像ホール

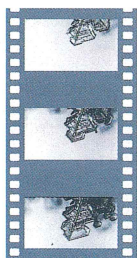
場所:雪の科学館映像ホール 定員:30名

(事前申込要・雪の科学館までお電話で0761-75-3323)

※当日は文化の日で入館料は無料です

雪の博士・中谷宇吉郎は日本の科学映画についても先駆的な業績があります。1939年に東宝の文化映画「雪の結晶」の製作を皮切りに、戦後は岩波映画の創設に貢献し、斬新な映画作りを指導しました。博士が関与した5本の映画を簡単な解説付きで上映します。

- 雪の結晶 (1958) 岩波映画 14分
- 霜の花 (1948) 日本映画社 19分14秒
- Process of Icing a Wire (1944) 3分18秒
- 日本ニュース「氷の花」(1951) 1分21秒
- 凸レンズ (1950) 岩波映画 16分14秒



開館30年のあゆみ展

2024年10月24日(木)～11月19日(火)

場所:雪の科学館2階

雪の科学館は今年(2024)開館30年を迎えました。

これを記念して、開館から30年のあゆみをご覧ください。パネル展示を開催します。

館で行われた様々なイベント等を写真と共に紹介します。

雪氷実験コーナー

2024年10月27日(日) 13時～15時

場所:雪の科学館 中庭

氷・塩・タコ糸を使って「氷つり」

をします。所要時間は約15分。

大人は入館料が必要です(高校生以下無料)。

(共催:友の会)



中谷宇吉郎 雪の科学館
NAKAYA UKICHIRO MUSEUM OF SNOW AND ICE

30th
Anniversary
1994-2024